

わたしたちは、最愛の人としばしば離れ隔たったり、
隔たった者がしばしばもっとも近い者であるような世界に住んでいる。

— ベック&ベック=ゲルンスハイム, 2014

*"We inhabit a world in which our loved ones are often far away and
those from whom we are distant may well be those dearest to us."*

- Beck & Beck-Gernsheim 2014



移動する「家族」

"Families" on the move

撮影・監督：大橋香奈 2018年 / 日本語・英語 / カラー / 32分

Filmed and directed by Kana Ohashi 2018/Japanese & English/Color/32 mins

移住と家族をめぐる民族誌的ドキュメンタリー映像

『移動する「家族」"Families" on the move』を鑑賞して

「家族」を考えるワークショップを開催します。

12月8日

14:00 - 16:00

- 参加費：無料
- 募集対象：高校生・大学生・子どもを持つ保護者・その他家族について考えたい方
- 会場：コミュニティ・カフェ EMANON (白河市)

詳しくは裏面もご覧ください

■ イベントについて / 主催者より

鑑賞する映像は、国境を越えて移動する人々を記録したドキュメンタリーです。福島に住む私たちから見ると、縁遠いものかもしれません。しかし、「家族」と「移動」は、高校生や大学生、あるいはその家族にとって、身近なものだと考えています。地方では、進学と同時に実家を離れる高校生が少なくありません。また、10代は強く家族の影響を受ける年代でもあります。

誰しもが関わる、「家族」と「移動」というテーマ。身近で難しいこのテーマに、映像を通じて向きあう時間となればと思っています。当日は、【映像鑑賞】【感想を共有するワークショップ】【研究者対談】の3部構成。「家族」について思うことがある方、これから「移動」を予定している方、様々な方に参加していただければ嬉しいです。

■ 講師（監督）

大橋 香奈さん *Kana Ohashi*

1981年、東京生まれ。慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科後期博士課程修了。博士（政策・メディア）。国内外で20回の引っ越しを経験し、「移住」の経験と「家族」のあり方に興味を持つように。現在は人びとの多様な「移動」の経験と「家族」のあり方について、写真や映像を



はじめとする視覚的な方法で調査研究を進めている。

☞ 大橋監督『移動する「家族」"Families" on the move』詳しい情報はこちら



■ イベント日時

2019年12月8日 14:00～16:00

■ 会場

コミュニティ・カフェ EMANON
(福島県白河市本町9番地)

■ 参加費 無料

■ 募集対象

高校生・大学生・子どもを持つ保護者
その他家族について考えたい方

■ 定員 15名程度

■ 参加方法 メールかLINEで予約
参加希望の方は前日までに12月8日
参加希望の旨を連絡してください。
メールアドレス staff@junbishitsu.jp
公式LINEアカウント \ @qt5882s

■ 主催者・問い合わせ

コミュニティ・カフェ
EMANON (担当:青砥)

U R L <https://emanon.fukushima.jp>
T E L 0248-57-4067

■ 講師（対談者）

成田 凌さん *Ryo Nariai*

1990年、青森県田舎館村生まれ。首都大学東京大学院人文科学研究科博士後期課程・日本学術振興会特別研究員。専門は都市社会学、農村社会学。主に青森県出身（首都圏在住）者の調査から、日本国内の地域間移動（都市移住、Uターン、地方移住・Iターン）や地方農村村の持続可能性に関する社会学的な研究に取り組んでいる。

